

環境保全への取り組み

地球温暖化、廃棄物問題、有害物質による土壌汚染などの環境問題が深刻化するなか、個人レベル・企業レベルでの環境への取り組みが注目を集めています。

当行では平成7年12月より、法人のお客さま向けの総合的な環境支援サービス「SAFE (Sumitomo Advanced Finance for Ecology)」を運営しています。

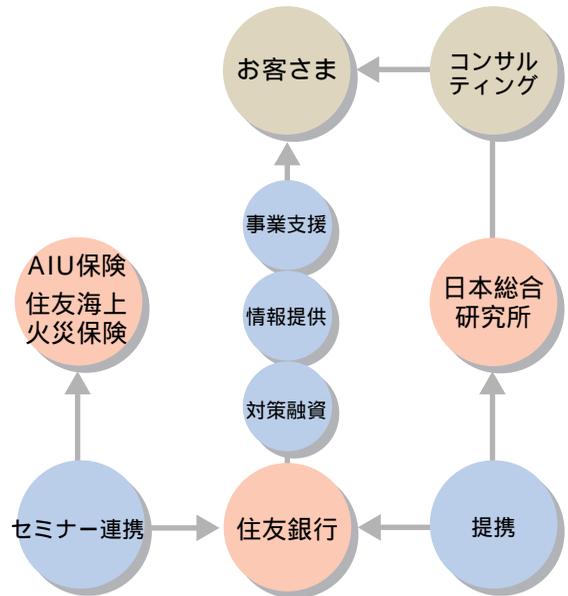
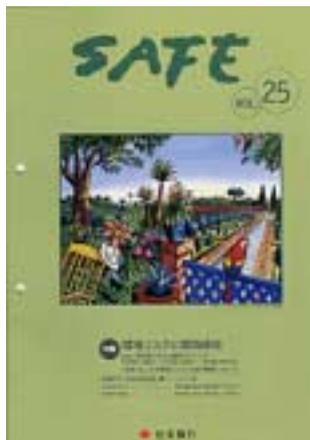
「SAFE」では、(株)日本総合研究所、AIU保険、住友海上火災保険(株)と提携し、お客さまのさまざまなニーズに対応しています。具体的には、

- 環境セミナーの開催
- 情報誌『SAFE』の発行
- 環境診断、コンサルティングのご提案
- エコ・ビジネスへの支援
- 環境対策融資「エコ・マネジメントローン」のご紹介

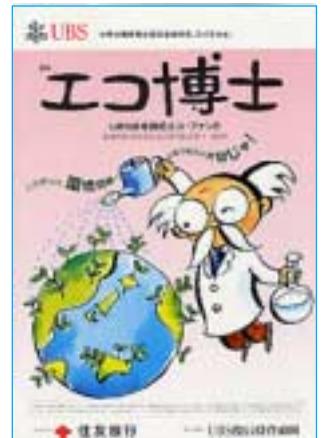
ISO14001 認証取得支援サービス「エコ・コンサルティングサービス」のご提供などの活動を通じ、お客さまの環境対策への総合的なサポートに努めています。

また、平成10年7月には「地球環境室」を邦銀として初めて設置し、より積極的に環境保全に取り組んでいます。

平成11年10月には環境をテーマとした投資信託である「UBS日本株式エコ・ファンド(エコ博士)」の取り扱いを開始しました。エコ博士では、投資家の皆さまからいただいた収益の一部を(株)日本総合研究所よりWWF JAPANへ寄付し、環境保全に貢献しています。



最近では、金融機関の環境問題への取り組みも関心を集めており、当行ではエコ・ファンドの取り扱いなど、企業を環境への取り組みから判断する基準づくりにも積極的に取り組んでいます。今後は、当行のみの限定的な活動とはせず、金融機関全体の問題としてさらに積極的に取り組んでいきたいと考えています。



行内の活動では、取り組みの一環として再生紙(リサイクルペーパー)を積極的に使用しています。商品パンフレットや職員の名刺はもちろん、お客さまにお使いいただく手さげ袋や現金封筒、景品のパッケージ(外箱)のほか、業務に使用しているコピー用紙や帳票用紙についても極力再生紙を活用しています。

当行は、地球市民の一員として、さまざまな側面から環境保全に向けた活動に、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。